

**政策 04 安全で安心なまちづくり**

**施策 02 消防・救急体制の充実**

**あるべき姿**

施策がめざす尾張旭市の姿  
消防・救急活動が迅速に行われ、市民の生命や財産が守られています。

**施策の成果状況と評価**

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	人口1万人当たりの火災発生件数(出火率) (件)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対基準値
		【予防課】	2.3	2.5	2.4	2
評価	・火災件数は昨年同様の20件で、人口1万人当たりの火災発生件数(出火率)は2.4件となり、前年実績より0.1件下回る結果となった。 ・人為的不注意による火災件数の増加は見られたが、大規模な火災件数は減少したことに因るものである。					対前年度
						目標達成度
						(...)

指標	心肺機能停止患者の生存率 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対基準値
		【消防署】	8.1	7.5	10.3	-
評価	・前年の心肺機能停止患者搬送件数58件に対する1ヶ月後の生存件数は6件で、心肺機能停止患者の生存率は10.3%となり、前年実績値より2.8%増加した。これは患者の容態、現場までの距離及び現場の状況などに因るものである。					対前年度
						目標達成度
						(...)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 火災予防体制の充実

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	消火器を使うことのできる市民の割合（％） 【予防課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(R元)	(R02)	(R05)	基準値
		41.3	42.2	-	55	(---)
評価	・ R2 はまちづくりアンケート未実施のため、数値未所得					対
		前年度	(---)	目標	(---)	
						達成度
						(---)

## 基本事業01 火災予防体制の充実

指標	防火対象物の立入検査後の改善率（％） 【予防課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(R元)	(R02)	(R05)	基準値
		73.0	73.0	73.0	65	(横ばい)
評価	・ 前年度実績値である73%と比べ横ばいの数値となった。これは、検査不備事項に対する年間を通じた追跡指導の成果に因るものである。					対
		前年度	(横ばい)	目標	(横ばい)	
						達成度
						(達成)

## 基本事業02 消防力の強化

指標	消防職員の充足率（％） 【消防総務課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(R元)	(R02)	(R05)	基準値
		92.2	96.6	100	100	(向上)
評価	・ 前年度の実績値に比べ、現状値が3.4ポイント増加した。これは、近隣大学、高校及び専門学校への積極的なPR活動が成果に結びつき、計画に基づいた適切な職員採用が実施されたことに因るものである。					対
		前年度	(向上)	目標	(向上)	
						達成度
						(達成)

## 基本事業02 消防力の強化

指標	消防車の現場平均到着時間（分） 【消防署】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(R元)	(R02)	(R05)	基準値
		8.6	9.7	8.0	8.5	(向上)
評価	・ 令和2年に119番通報により出動した火災件数は14件（事後間知火災を除いた件数）となり、消防車の現場平均到着時間は前年の実績値に比べ1.7分の短縮となった。 ・ 昨年と比べ消防署から火災発生場所までの距離が近い場所であったことが時間短縮の要因である。 事後間知火災とは通報時鎮火されていた火災のことをいう。					対
		前年度	(向上)	目標	(向上)	
						達成度
						(達成)

**基本事業02 消防力の強化**

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	水利基準達成率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【消防署】	91.1	92.6	92.8	92	☀ (向上)
評価	・前年度の実績値に比べ、0.2％増加した。 ・分母となる整備対象区域の減少及び新設消火栓を7基設置したことが要因である。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						☑ (達成)

**基本事業02 消防力の強化**

指標	消防団員の充足率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【消防総務課】	96.1	98.4	96.8	100	☂ (低下)
評価	・前年度の実績に比べ、現状値が1.6％減少した。これは、令和2年度が消防団役員の異動期であったことが要因である。しかし、県補助金を活用した継続的な消防団員加入促進活動の実施などにより新規入団者があったため、前年度と比べ減少は2名であり、定員129名に対し125名となった。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

**基本事業03 救急・救助体制の充実**

指標	救急車の現場平均到着時間（分）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【消防署】	6.8	6.8	6.8	6.8	☁ (横ばい)
評価	・前年の実績値は6.8分となり横ばいの数値であった。感染防止対策の徹底が求められるため、出勤準備等に時間がかかる状況であったが効率的な感染防止衣の着装により時間の延伸を抑制したことに因るものである。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						☑ (達成)

**基本事業03 救急・救助体制の充実**

指標	救急救命士の救急車同乗率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【消防署】	99.5	99.8	99.9	100	☀ (向上)
評価	・前年の実績値に比べ、0.1％増加した。これは、救急救命士の養成が計画的に実施され、充足率が向上したことに因るものである。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						(---)

**基本事業03 救急・救助体制の充実**

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	現場に居合わせた救命講習受講者による心肺蘇生実施率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
		【消防署】	27.8	22.7	39.7	20
評価	・前年の実績値に比べ、17％増加した。これは、偶発的な状況に左右されるため、年により大きく変動する数値に因るものである。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)